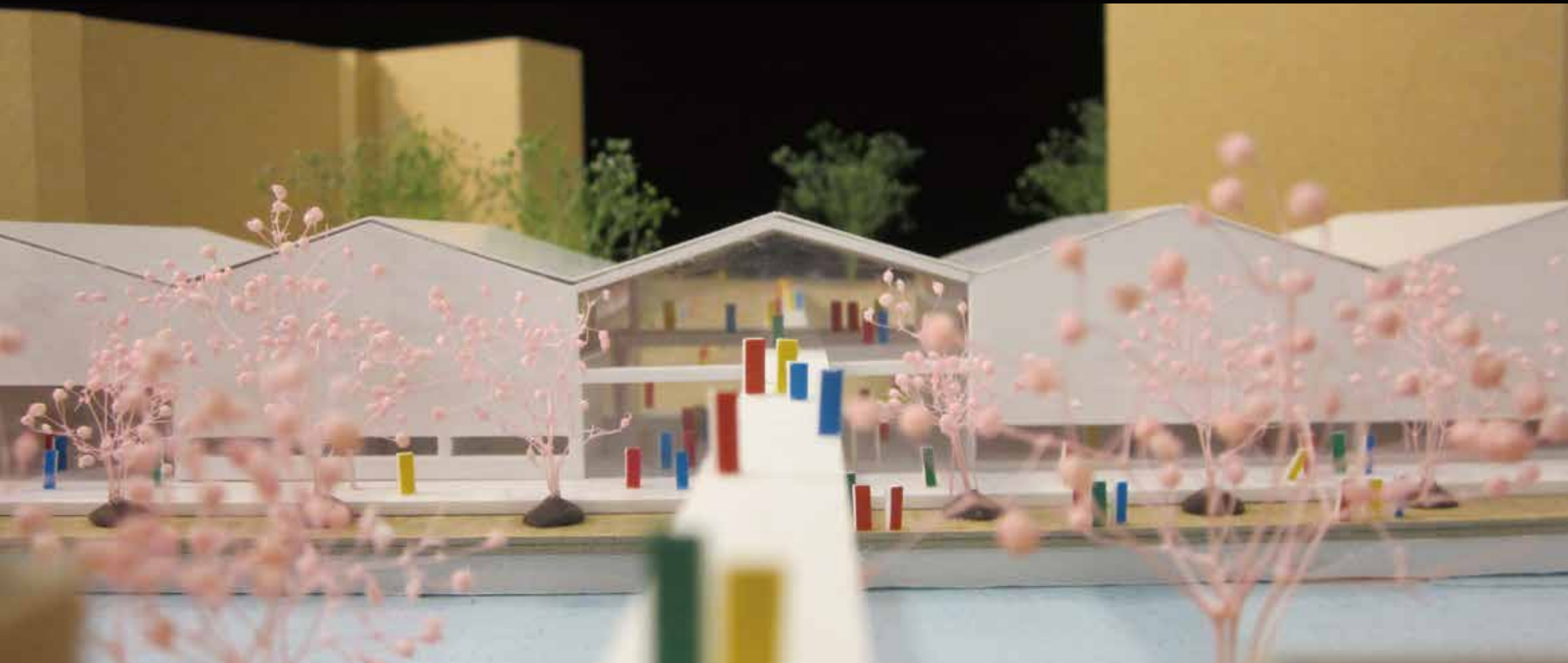


設計演習・ゼミナール作品展



2015年6月13日(土) ~ 2015年6月21日(日)

【時間】10:00 ~ 18:00

※金・土は 19:00 まで、最終日は 16:00 まで
 ※15日(月)は休館日

【場所】深川東京モダン館
 2階多目的スペース



学生発表会・公開講評会

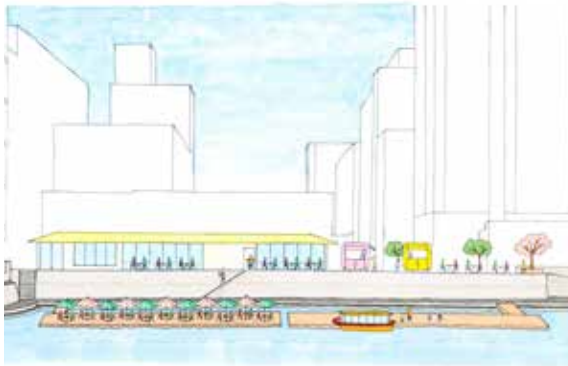
2015年6月20日(土) 14:00 ~ 16:00

- 内容
- ・学生の発表
 - ・教員と市民からの講評
 - ・意見交換

3年次 地域設計演習 (2014 年度後期)

河川・運河と水辺を中心とするコミュニティデザイン

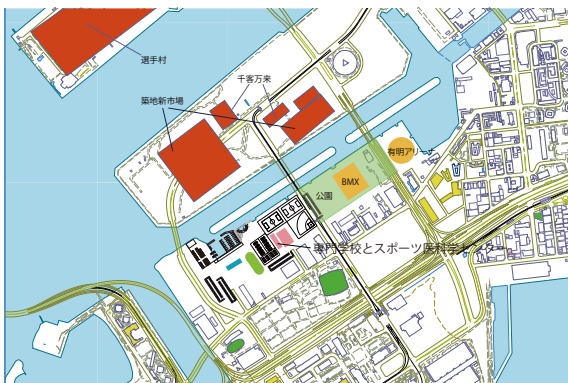
大川端（東京都江東区 永代、越中島、門前仲町、中央区 佃、新川）を対象として、まず都市の文脈を解釈する作業と、都市の実状を把握する作業を行う。そして、現代都市に対する様々な問題意識を背景に、学内には希薄になりがちな「現場」と「市民」から学ぶ体験を通じて、新たな都市像とコミュニティ像を構想する。その構想にもとづき、大川端・隅田川・大横川とそれらの水辺を中心とするコミュニティ創出の場、観光拠点の場、コミュニティ創出と観光を促進する仕組みを提案する。



3年次 建築ゼミナール 2 (2014 年度後期)

2020東京オリンピック・パラリンピック大会に備える

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会では、豊洲周辺の湾岸地区に、競技場や選手村が数多く整備される予定となっている。豊洲周辺地区は、来る大会の中心になるといえる。その備えとしては、公共空間や施設整備だけでなく、海外からの多くの選手や観光客を迎える準備が必要となる。どうすればわたしたち市民が、選手や観光客を「おもてなし」で迎えらるかどうか検討し、ボランティアセンターなどのソフト面の仕組みや、地域の魅力を紹介するガイド、競技場の未来を考えた建築計画の提案など様々な方法を作成・提案する。



3年次 建築設計演習 I (2015 年度前期)

まちと暮らす小学校

設計課題「小学校」 小学校は児童が本格的な集団生活をはじめる教育施設であると同時に、地域環境を支える重要な公益施設の一つである。この演習では、地域環境的な要求とこれからの教育施設に求められる学習環境の双方を探り、計画地にふさわしい小学校のあり方の提案を行う。また、この設計演習では学生たちにとって初めてとなる実在の敷地が与えられており、実際に敷地を訪れ、周辺環境を読み解き、その特性を計画に反映させることが必要となる。さらに、初めての公共施設の設計課題であり、使用者ごとの活動を想定したゾーニング、動線計画、諸室のつながりに対する十分な検討を行う。

